

平成 30 年度「海の安全運動」受賞団体

| | | |
|---|-------|--|
| 1 | 団体名 | 社会福祉法人敬朋福祉会 堀川保育園 |
| | 件名 | 映像等を利用した広報活動により、一般市民等に対する海難防止思想の普及・安全意識の高揚に貢献した団体 |
| | 地区名 | 茨城地区海の安全運動推進団体 |
| | 功績の内容 | <p>多くの人が蝟集する場所で放映する海の安全運動啓発動画の作成について、「各世代に親しみを持たれ」かつ「声が屋外で通りやすい」ものにするため、堀川保育園に協力を依頼したところ、多数の園児が参加し、動画の素材となる人文字集合写真、救命胴衣着用写真撮影及びスローガンの「みんなで海の事故ゼロ」等の呼びかけを収録して動画を作成した。園児たちの「ゼロ」の人文字や「海の事故ゼロ」等の呼びかけについては、NHK水戸放送局、茨城新聞の取材等を受け、NHKニュース（水戸放送局エリア）で放映され、また、新聞紙面に掲載され、さらに、動画が、7月から8月の間、JR水戸駅南口大型ビジョン及びケースデンキスタジアム水戸の大型ビジョンで放映され、一般市民に対して広く海難防止等に関する啓発が行われた。</p> <p>これらは、前記のとおり、マスメディアにも取上げられ、効果的な海難防止思想の普及及び啓発活動となり、その功績は顕著である。</p> |

| | | |
|---|-------|--|
| 2 | 団体名 | 株式会社 ポケモン |
| | 件名 | 人気キャラクターを利用した広報活動により、若年層等に対する海難防止思想の普及・安全意識の高揚に貢献した団体 |
| | 地区名 | 横浜・川崎地区海の安全運動推進連絡会議 |
| | 功績の内容 | <p>横浜・川崎地区海の安全運動推進連絡会議事務局である横浜海上保安部と株式会社ポケモンは、活動内容や具体的な効果等を検討し、約6ヶ月にわたって準備を行い、作成するポスターについて、対象を若年層とし、内容は分かりやすくひらがなや振り仮名を多用したキャッチーなものとするため、同社人気キャラクターピカチュウを起用するとともに、ポスターデザインを無償で行い、作成されたポスターは、市内小学校等に掲示され、若年層に対する海難防止等に関する啓発を図った。</p> <p>また、ライフジャケットを着用したピカチュウ着ぐるみを作成す</p> |

るとともに、イベント経費等の負担を同社が行い、夏休み期間中、横浜みなとみらい地区全域で6日間にわたって展開するイベント「ピカチュウ大量発生チュウ」で同着ぐるみを使用し、プロのMCを配してライフジャケットの着用を視覚的に分かりやすく呼びかけ、ピカチュウ海のパレードの実施前に観覧者に対してライフジャケット着用に関する啓発を実施した。

これらの取り組みにより、本運動の趣旨が、強いインパクトをもって地元若年層のみならず、夏休み中本イベントでみなとみらい地区を訪れた全国からの観光客6日間総観覧者約219万名に対しても幅広く啓発されることとなり、海難防止思想の普及及び安全意識の高揚に大きく貢献した。

3 団 体 名 伊豆漁業協同組合

件 名 他の範となる「海の安全運動」を展開し、海難防止活動等に成果をあげた団体

地 区 名 下田地区海の安全運動推進連絡会議

功 績 の 内 容 イ 伊豆漁業協同組合は、毎年1月、海上保安部、自治体、警察・消防等の関係機関及び漁業関係団体が集まる「海上安全祈願祭」における海上安全宣誓式を企画し、組合長自らが安全宣言を行い、漁業組合員、漁船乗組員、船主等に対する安全意識の高揚を図るとともに、関係団体に対して決意表明を行うなどにより、所属組合員に対する事故防止を図る独自の強力な取組みを推進している。

ロ 組合として、平成 26 年に伊豆地区初となる『ライフジャケット着用推進委員「ライフガードレディース」(LGL)』を発足させ、漁港での乗組員に対する事故防止やライフジャケット着用の呼びかけなどにより、組織全体を挙げて事故防止に向けた取組みを推進している。

ハ 海上保安部と協働して漁船に対する安全点検を実施し、漁船乗組員に対する安全意識の啓蒙を図るとともに、現場での直接的な安全確認も推進している。

以上の取り組みの結果、平成 27 年～29 年には計 4 名の死亡行方不明者を伴う事故を含め 12 件の事故が発生していたが、平成 30 年においては、事故を 3 件に減少させ、死亡行方不明者をゼロとすることができた、これらの積極的な活動は当地区の他の海事関係者の模範となっている。